

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	<p>新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための 多施設共同研究 (倫理委員会承認番号：577)</p>
当院の研究責任者 (所属)	救命救急センター 救急・集中治療科 北村 伸哉
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	<p>●全体統括機関 日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 講師 田上 隆</p> <p>●その他の共同研究機関 大阪医科大学附属病院、済生会宇都宮病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、大阪大学医学系研究科、北海道大学病院、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 ほか、当研究に参加する全国の医療機関</p>
本研究の目的	<p>【背景・目的】 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、現在、世界的な問題となっています。世界中から多くの研究が報告されていますが、本邦の医療システムにおける臨床経過や治療効果を評価するためのデータは未だ十分ではありません。また、様々な研究を元にした治療戦略の有効性が示唆されているものの、その内容は未解明な点も多く、医療資源も国によって異なることため、さらなる研究が必要です。</p> <p>本研究は、本邦の COVID-19 の臨床データにつき解析を行います。その結果を元に、本疾患の特徴を明らかにし、今後の治療戦略や医療政策の検討に役立てることを目的とします。</p>

調査データの 該当期間	2020年1月1日から2020年9月30日
研究の方法 (対象となる方)	該当期間に COVID-19 により当院に入院し、退院となった患者さん
研究の方法 (使用する情報)	DPC データやカルテ情報から、背景(年齢、性別、病名など)、バイタルサイン(血圧値、脈拍値)、治療情報(治療薬、ECMO/人工呼吸器情報、その他使用治療機械情報など)、検査情報(血液検査データ[肝機能、凝固系指標など]、放射線検査データなど)、医療費、転帰情報(在院日数、退院時予後)などを抽出し、解析します。
資料・情報の他機関 への提供	この研究は、多施設の共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。
個人情報の取扱い	<p>研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任を持って適切に管理します。よって、最終的に利用するデータには、個人を識別する情報は一切含まれません。</p> <p>検体や情報は、当院の研究責任者及び情報の提供先である日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科が責任を持って適切に管理します。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	<p>国保直営総合病院君津中央病院</p> <p>救命救急センター 救急・集中治療科 北村伸哉</p> <p>Tel : 0438-36-1071 (代表)</p>
備考	